

令和2年度

学校教育方針

京都市立山科中学校

◎学校教育目標

山科の心　～折れない心、熱い心、優しい心～ 『「生きる力」を身につけ、心と知性ある豊かな人間を育成する』

1 学校経営方針

- (1) 人間尊重を基本とし一人一人を大切に、全ての教育活動に一生懸命取り組み、活気に満ちた笑顔あふれる学校づくりを行う。
- (2) 心の教育を推進し、あらゆる場面で豊かな心と規範意識・自己有用感を育てる。
- (3) いじめは絶対に許さないという認識のもと、全教職員で組織的に対応する。
- (4) 全教職員による協働体制を確立し、自ら学び、自ら律する力を高め、規律ある学校風土を創る。
- (5) 地域の学校としての使命を自覚し、生徒・保護者・地域と双方向の連携・協働を深め、信頼される学校づくりを行う。
- (6) 新学習指導要領を鑑み、確かな学力の向上を目指し、9年間の小中一貫教育を推進する。

2 目指す生徒像

- (1) 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造し、折れない心と知性を持つ生徒
- (2) お互いを尊重し、他人を思いやり、人権文化の担い手として優しい心を持つ生徒
- (3) きまりを守り、礼儀正しく自らあいさつができる生徒
- (4) 何事にも粘り強く一生懸命取り組み、熱い心で豊かな人生を切り拓く生徒

3 目指す教職員像

- (1) 生徒の命を守りきり、生徒理解の視点に立ち、生徒や保護者と好ましい人間関係を築く教職員
- (2) 新学習指導要領を見据え授業力の向上に努め、常に課題意識を持ち、その専門性を高める教職員
- (3) 人権教育の視点に立ち、いじめや差別のない学校づくりに努める教職員
- (4) 教育目標を理解し、全ての教育活動に対し生徒に達成感を持たす為、チーム山科の一員として妥協することなくカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践し、生徒と成就感を共にする教職員
- (5) 教育者として職責を自覚し、資質・指導力を高めると共に、働き方改革を推進する教職員

4 重点目標

- ・新学習指導要領を鑑みた授業改善に取り組み、基礎的・基本的な内容の確実な定着と学力向上を図り、家庭学習の習慣化を推進する。
- ・あらゆる教育活動の場面で、心の教育の充実を図ると共に、主体性と社会性の育成を目指し、自ら学ぶ力と自ら律する力を高める取組を推進する。
- ・困りを抱える生徒一人一人に対し、支援教育の充実と合理的配慮を推進する。